



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社RKB毎日ホールディングス  
 コード番号 9407 URL <https://rkb.jp/holdings/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画局長  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福  
 TEL 092-852-6624

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,873	△4.0	649	△42.8	803	△37.1	441	△42.0
2022年3月期第3四半期	16,541	6.3	1,135	—	1,276	464.6	762	404.3

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 478百万円 (11.6%) 2022年3月期第3四半期 428百万円 (△19.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	201.57	—
2022年3月期第3四半期	347.74	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	47,314	36,455	74.9
2022年3月期	49,057	36,177	71.7

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 35,438百万円 2022年3月期 35,193百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	90.00	90.00
2023年3月期	—	—	—		
2023年3月期(予想)				75.00	75.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,100	△4.7	800	△49.3	1,000	△42.3	550	△44.8	250.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	2,240,000 株	2022年3月期	2,240,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	47,894 株	2022年3月期	47,842 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	2,192,132 株	2022年3月期3Q	2,192,172 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの下で各種制限の大幅な緩和や政府の経済対策などにより景気回復の動きが見受けられましたが、変異株の出現による感染症再拡大に加え、エネルギー価格及び原材料価格の高騰、円安による物価上昇の継続等により弱含みで推移しました。

そのような状況の中、放送事業収入は、福岡エリアへのCM投下量が減少したことなどにより減収となりました。システム関連事業収入につきましても、主力のS I サービス部門の売上が減少し、減収となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高158億73百万円（前年同期比 4.0%減）で減収となり、営業利益は6億49百万円（前年同期比 42.8%減）、経常利益は8億3百万円（前年同期比 37.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億41百万円（前年同期比 42.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ①放送事業

放送事業は、収入102億19百万円（前年同期比 3.7%減）、営業利益3億29百万円（前年同期比 58.5%減）となりました。

テレビ部門は、収入94億52百万円（前年同期比 3.6%減）となりました。主力商品であるスポット収入は、通信・薬品等の一部の業種で前年同期を上回りましたが、原材料高騰や円安などから化粧品・トイレタリ業界など出稿を控える業界が多く4.5%減となりました。タイム収入は女子プロゴルフトーナメント「ほけんの窓口レディース」の有観客開催や3年ぶりに野外コンサート「福岡音楽祭 音恵2022」を開催しタイム収入を積み上げましたが、スポット収入と同様に投稿量の減少により1.8%減となりました。

ラジオ部門は、収入7億67百万円（前年同期比 5.0%減）となりました。ラジオ関連イベントが回復しつつありますが、通信販売業や法律事務所などの出稿が前年に比べ低調でスポット収入は13.3%減、タイム収入も5.8%減となりました。

## ②システム関連事業

システム関連事業は、収入41億16百万円（前年同期比 1.5%減）、営業利益1億68百万円（前年同期比 39.0%減）となりました。利益率の高いS I サービス部門の売上が減少したことなどから減益となりました。

## ③不動産事業

不動産事業は、収入7億76百万円（前年同期比 1.3%減）、営業利益7億78百万円（前年同期比 3.8%増）とほぼ前年並みで推移しました。

## ④その他事業

その他事業は、収入7億60百万円（前年同期比 20.9%減）、営業損失43百万円（前年同期は営業損失84百万円）となりました。新型コロナウイルス感染症の影響が縮小し損失幅は改善しましたが、大型イベントが少なかったことなどから収入面では減収となりました。催事部門では福岡市と連携したイベント「The Creators 2022」や「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」等を開催しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、473億14百万円と前連結会計年度末と比べ17億42百万円減少しました。これは主に、回収により受取手形、売掛金及び契約資産が10億53百万円、減価償却等により有形固定資産が4億93百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の総負債は、108億59百万円と前連結会計年度末と比べ20億20百万円減少しました。これは主に、支払等により流動負債のその他に含まれる未払費用が8億48百万円、未払法人税等が4億95百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、364億55百万円と前連結会計年度末と比べ2億77百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が2億44百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2022年11月11日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,280	12,088
受取手形、売掛金及び契約資産	4,005	2,951
棚卸資産	207	506
その他	2,668	2,466
貸倒引当金	△5	△7
流動資産合計	19,155	18,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,623	5,460
機械装置及び運搬具（純額）	587	462
土地	13,517	13,517
その他（純額）	2,317	2,111
有形固定資産合計	22,046	21,552
無形固定資産		
	212	186
投資その他の資産		
投資有価証券	5,209	5,220
その他	2,434	2,351
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,642	7,570
固定資産合計	29,902	29,309
資産合計	49,057	47,314
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	477	276
未払法人税等	506	10
その他	3,837	2,639
流動負債合計	4,821	2,927
固定負債		
退職給付に係る負債	4,556	4,498
その他	3,500	3,433
固定負債合計	8,057	7,931
負債合計	12,879	10,859

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	33,808	34,053
自己株式	△184	△184
株主資本合計	34,188	34,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,090	1,067
退職給付に係る調整累計額	△85	△61
その他の包括利益累計額合計	1,005	1,005
非支配株主持分	984	1,016
純資産合計	36,177	36,455
負債純資産合計	49,057	47,314

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	16,541	15,873
売上原価	10,252	10,088
売上総利益	6,289	5,785
販売費及び一般管理費	5,154	5,135
営業利益	1,135	649
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	113	130
その他	29	34
営業外収益合計	144	165
営業外費用		
支払利息	0	0
和解金	—	8
その他	2	2
営業外費用合計	2	11
経常利益	1,276	803
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	2
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	1,276	800
法人税等	455	321
四半期純利益	820	478
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	762	441



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	820	478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△410	△23
退職給付に係る調整額	18	23
その他の包括利益合計	△392	△0
四半期包括利益	428	478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	371	442
非支配株主に係る四半期包括利益	56	35

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
テレビ放送	9,808	—	—	—	9,808	—	9,808
ラジオ放送	808	—	—	—	808	—	808
システム関連	—	4,177	—	—	4,177	—	4,177
その他	—	—	—	961	961	—	961
顧客との契約から生じる 収益	10,616	4,177	—	961	15,755	—	15,755
その他の収益	—	—	786	—	786	—	786
外部顧客への売上高	10,616	4,177	786	961	16,541	—	16,541
セグメント間の内部売上 高又は振替高	77	54	632	1,010	1,775	△1,775	—
計	10,693	4,232	1,418	1,972	18,317	△1,775	16,541
セグメント利益又は損失(△)	794	276	750	△84	1,736	△601	1,135

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△601百万円には、セグメント間取引消去6百万円、当社における子会社からの収入116百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△724百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
テレビ放送	9,452	—	—	—	9,452	—	9,452
ラジオ放送	767	—	—	—	767	—	767
システム関連	—	4,116	—	—	4,116	—	4,116
その他	—	—	—	760	760	—	760
顧客との契約から生じる 収益	10,219	4,116	—	760	15,097	—	15,097
その他の収益			776		776	—	776
外部顧客への売上高	10,219	4,116	776	760	15,873	—	15,873
セグメント間の内部売上 高又は振替高	89	72	624	1,042	1,829	△1,829	—
計	10,309	4,188	1,401	1,803	17,703	△1,829	15,873
セグメント利益又は損失(△)	329	168	778	△43	1,233	△583	649

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△583百万円には、セグメント間取引消去2百万円、当社における子会社からの収入94百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△681百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 参考情報

RKB毎日放送株式会社 売上高の内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	比率(%)
テレビ収入	9,856	87.5	9,514	88.0	△341	△3.5
ラジオ収入	836	7.4	795	7.3	△41	△5.0
その他の収入	579	5.1	508	4.7	△70	△12.2
合計	11,272	100.0	10,818	100.0	△454	△4.0